



エコハウス研究会季刊紙

そらどま

2020年
秋号

第3号

2020 . A U T U M N v o l . 3

CONTENT

丸谷 博男 (代表理事)

soradoma new version

住まい手と共につくる 幸せの健康と家づくり

一つの心

三つの得

五つの酷暑対策

七つの快適術

田村 洋二 (商流担当・鋼鉄商事株式会社)

光ダクトのシミュレーション事例

磯貝 左千夫 (理事・事務局)

soradoma 動画が完成しました。

理事会と幹事会開催のご報告

2日間の実践講座「粘土という土」を開催



住まい手と共につくる 幸せの健康と家づくり

代表理事 丸谷 博男

開発の意図

soradomaの世界は、
「人間と地球環境」がテーマです。

2013年10月に「そらどまの家—現代日本民家の標準をつくる本」を出版したのが、最初の「そらどまの家」を形にして提案したものでした。それから7年になろうとしています。この間に、「そらどま換気」については改良を重ねて現行のシステムに至っています。

そして、冷暖房については、「空気を冷暖房する」パッシブエアコンによる全館空調的な対応と、「空気を使わないで暖房する」輻射冷暖房の二刀流で進めてきました。このことはまだまだ変わることなく、それぞれの長所短所を理解しながら

ら進めていきます。しかし、輻射冷暖房の良さをなんとか、実用的なものへと諸問題を克服していきたいと思っています。

今回の、提案では、夏の輻射冷暖房に欠かせないのは除湿であり、除湿するためには、一般に流通している壁掛けエアコンがコストと性能で優れていることに改めて認識を深めています。

もう一つは、各地で頻発する地震と、予想される大地震に備えた「地盤と建築物の耐震性」の強化と確保について、どのような対応が技術的に、また保証として対応できるのかという課題です。この課題に立ち向かう中で出会ったのが、置換工法の一つである「スーパージオ®工法」であり、さらに基礎を強靱化し省コストでもある「高耐Qパ

ネル工法」だったのです。この基礎工法については4年ほど前に岩手県大槌町の復興住宅で取り組んでいます。地盤改良については今年の7月に取り組みました。

とくに、「スーパージオ®(登録商標マーク)工法」では、最近頻発している都市洪水に対しての宅地内雨水貯留浸透層としての機能を併せ持つことができること、また、この貯留槽は地下空洞のため「アースチューブ」としての利用も可能なため、soradomaの家のシステムに組み込むことが可能なため、今回の新しいバージョンの誕生となったのです。

皆様からの、ご意見をいただき、さらにシェアアップしていきたいと思っています。



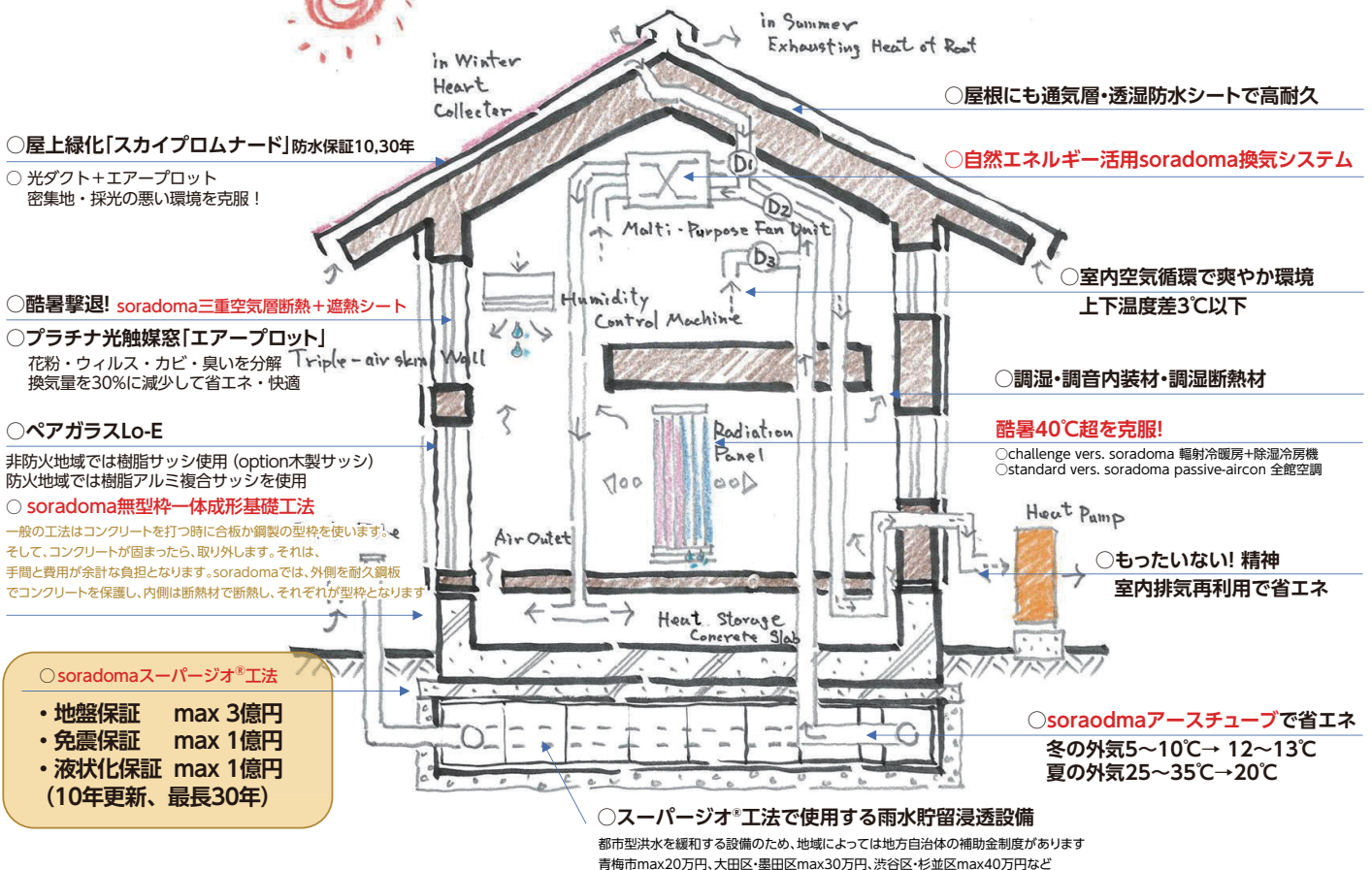
1

soradomaの家 vers.2020秋

- ・minimum standard 標準価格25万円/m² [静岡県・牧が谷の家] (たまにしか使用しないので冷暖房は壁掛けエアコン、造作家具は除く)
- ・stable standard 標準価格30万円/m² [富山県・杉谷の家] (パッシブエアコンによる全館空調、造作家具は除く)
- ・challenge standard 標準価格35万円/m² [埼玉県・春日部の家、愛知県長久手の家] (輻射冷暖房+除湿冷却機~除湿温調機、造作家具は除く)

by 一般社団法人 エコハウス研究会

国産材・漆をふんだんに使う家づくり
建築から家具建具まで

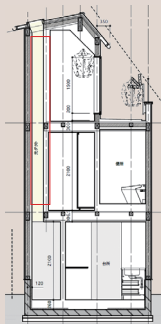


3階建て小住宅における光ダクトの利用とシミュレーション事例

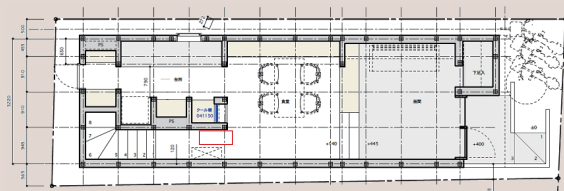
現在、若原アトリエで設計中の都市型3階建ての小住宅にて光ダクトを計画中です。敷地面積約16坪で東西に細長い敷地、建築面積約10坪。南側は現状駐車場となっており、将来的に建物が建ち日当たりが悪くなる可能性が高いことを考慮して、南面の窓は減らし廊下部分に光ダクトを計画しています。実際、弊社に入る問合せで最も多いのは、建築後に南側に家が建ち、日当たりが悪くなったため光ダクトで改善したいというものです。リフォームで設置も可能ですが、費用も余計に掛かりますので、周辺の立地も考慮して新築時に検討いただくことがベストです。



光ダクト仕様 幅700mm、奥行き300mm、長さ約5m

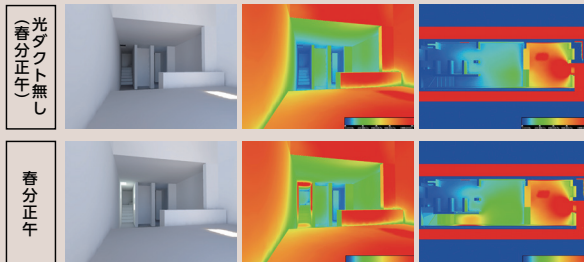


1F平面図



断面図

この環境での、光ダクトが無い場合、有る場合の室内の明るさのシミュレーションをご紹介します。照度は赤色の部分が1000lx以上、黄緑が250lx程度となります。光ダクトがある場合と無い場合では、玄関から室内方向を見たときの明るさの印象が大きく変わります。また、照度が低下する冬季でも日中はJISの廊下の照度基準30~75lx以上を確保できています。



南側に建物が建つことを考慮して窓の配置や光ダクトを応用することにより、外部の環境によって光環境が大きく変化することが可能です。また、この案件では光ダクトを上下階の空気循環のダクトとしても兼用する計画で進めておりますので次回以降でご紹介いたします。本物件では、通常の空調ダクト方式ではなく、複合パネル方式で設置予定です。厚さ約2mmのパネルになっており、現場で切断し石膏ボード等の下地に貼り付けることで光ダクトを作ることができます。

soradoma 動画が完成しました。

コロナの影響で非常事態宣言が出てから、セミナーや勉強会が開催できなくなりましたが、丸谷先生と相談して、soradoma動画を作成しました。この動画はコロナがなければ作れませんでしたので、うまく環境の変化に対応できました。今までも、講習会を開催し、丸谷先生の講義がありました。受講生のみ

なさんから、学んだことをお客さんにお話ししようと試みたところ、旨く説明できなかったというお話を頻繁にお聞きしてきました。動画によるセミナーは、何度も繰り返し視聴することができますので、丸谷先生の話し方や話題の進め方、基礎知識なども含めて学んでいただければと思います。

理事会と幹事会開催のご報告

コロナの影響はミーティングにも出ました。打合せに ZOOM を取り入れるようになりました。ZOOM は地域を問いませんので、全国に広がるみなさんと今まで以上に頻繁にミーティングを開催できるようになりました。

ZOOM 幹事会は、5月22日、7月15日、8月20日に3回開催しました。ZOOM 理事会も5月18日、6月28日、9月1日に3回開催しました。

2日間の実践講座「粘土という土」を開催

古民家再生マイスター養成講座は、残念ながら開催することができなくなりましたが、三重で開催を計画していた「粘土という土」の回だけは、中止にしないで開催できるかどうか見定めていました。感染第2波は収束に向かっている傾向が見られることから、実践講座「粘土という土」を開催します。日程は2020年9月30日・10月1日の2日間、

三重県四日市。特別招待講師は、蒼築舎株式会社・松木憲司氏です。松木氏は、イタリアミラノ万博に出展するなど精力的に活動され、黄綬褒章・現代の名工を受賞されています。9月30日は講習会、10月1日は蒼築舎が手がけている国宝専修寺の現場などを見学します。参加費用は会員18,000円(一般20,000円)。

一般社団法人エコハウス研究会

本部 東京都世田谷区代田 3-48-5 梅ヶ丘アートセンター
 事務局 東京都国立市富士見台 2-12-32
 代表理事 丸谷 博男(株式会社エアーアンドエー・セントラル代表取締役)
 理事 若原 一貴(日本大学芸術学部准教授)
 理事(事務局長) 磯貝 左千夫(株式会社ジェイボックス代表取締役)

幹事
 東北エリア 高木 正基(高木電気管理事務所) 北陸エリア 永森 裕章(株式会社ジュープラス)
 関東・沖縄エリア 菅原 律子(菅原律子設計事務所 +itiS) 関西エリア 上原 弘一郎(ウイスタムデザイン)
 静岡エリア 永田 章人(株式会社永田デザイン) 関西エリア 新堂 雄美(A.S.A.P. デザインラボ)
 浜松エリア 大石 智(有限会社大石設計室) 九州エリア 金子 知史(金子工務店)
 中部エリア 稲垣 憲子(株式会社ハウスジャパン)